

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (東北)	◎	－	－	－
	○	商店街（代表者）	来客数の動き	・7月に商店街に隣接した大型商業施設が開業して以来、来街者数は特に土日祝日が増加している。売上については、飲食店は増加傾向にあるものの、衣料品関連が苦戦しており、全体としては横ばいである。
	○	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	来客数の動き	・前月までの閑散とした店頭の様子とは打って変わり、今月は非常に忙しく、客と話をする余裕がなくなっている。
	○	スーパー（店長）	お客様の様子	・米不足により米を求める客が多くなっている。米の販売量が前年比250%となっており、その分売上也増加している。
	○	乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・車の買換えを検討する客が増えている。
	○	乗用車販売店（店長）	お客様の様子	・認証不正問題の影響下にあった車種も順次販売が再開され、足元の受注は増え始めている。
	○	住関連専門店（経営者）	販売量の動き	・受注生産をしているが、受注量が増えた分、販売量が増加している。
	○	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・今月に入り週末を中心に来客数が多少増加している。これまで数年続いていた停滞感が少し変わり始めた感じがある。
	○	一般レストラン（経営者）	単価の動き	・来客数がそこそこあり、高単価のものがよく売れている。
	○	競艇場（職員）	単価の動き	・大口客が多く来場したため、売上が良くなっている。
	○	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	販売量の動き	・販売量、売上額、粗利が3か月前より増加しており、前年比では約25%増加している。賃金や仕入価格、消耗品価格、光熱費の上昇分は売価に転嫁しており、好調な状態である。
	□	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	販売量の動き	・暑さが続いているため夏物商材がよく出ている。来客数も前年を超えており、1人当たりの販売点数も前年の1.5倍となっている。
	□	一般小売店〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・今月は残暑も厳しく、2週連続の3連休もあって期待していたが、販売量はそれほど伸びなかった。度重なる自然災害や公共交通機関の運休等により、県外からの旅行客のキャンセルが多かったことや地元の人も豪雨等で外出を控えたことで予想以上に厳しい状況になったとみている。
	□	百貨店（企画担当）	販売量の動き	・食品と高額商品が売上上位を占める構造は変わらないものの、全体の売上は低迷している。特に売上の大部分を占める食品の不調は継続している。
	□	百貨店（経営者）	販売量の動き	・中旬から気温が低下し、季節の変わり目の衣料品を中心に久しぶりに消費が活発になっている。食料品は更なる値上げで生活防衛意識が強まり、売上は厳しい。
	□	百貨店（従業員）	お客様の様子	・来客数は横ばいだが、低単価でも必要最低限の物しか購入しない傾向が続いており、販売点数が微減している。
□	スーパー（店長）	販売量の動き	・8月は米の売上が前年比200%を超えていたが、今月は同83%となっている。	
□	スーパー（店長）	販売量の動き	・各種値上げの影響が大きく、買上点数の回復の兆しがみえない状況が続いている。	
□	スーパー（店長）	それ以外	・10月から最低賃金が引き上げられるが、社会保険の適用枠も拡大されるため、可処分所得が増える世帯は限定的とみている。	
□	スーパー（企画担当）	お客様の様子	・販売構成比の特売品比率が高い状態が続いており、客単価が伸び悩んでいる。値引き時間に合わせて来店する客や安くても必要な商品だけを購入する客が目立つ。商品価格の上昇が一段落したことや客が特売商品を選んで購入していることから、来客数は増えても売上は大きく伸びていない。	

<input type="checkbox"/>	スーパー（商品担当）	販売量の動き	・気温が前年より低めに推移したため、前年より夏物商材の販売量が減少しており、全体の販売数量も減少している。
<input type="checkbox"/>	スーパー（業務担当）	来客数の動き	・残暑が長引いた分、商品の売行きに変化はみられたが、来客数に大きな変化はない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・残暑が厳しく、冷たい物がよく売れている。例年ならば9月に売れ始めるホット商材は全く売れず、トータルの上は前年を少し下回っている。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・来客数が横ばいのため、特に変わりはない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・微増ながら来客数は前年超えを継続している。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	来客数の動き	・来客数が天候に左右され、売上も安定しない状態が続いている。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・風力発電関連企業からの作業服等の受注が好調で、売上が上がっている。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・経済状況を踏まえた冷静な判断による購入が多い。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	お客様の様子	・出張やイベント用途などの需要は安定しているが、残暑の影響か、ふだん着需要の動きが不安定である。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（総務担当）	販売量の動き	・来客数、客単価はほぼ予算どおりであったが、買上点数が90%だったため、売上が確保できていない。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（従業員）	単価の動き	・残暑が厳しくエアコン等夏物商材が好調である。省エネ型給湯器は補助金対象機器の買換えが締切り間近のため好調である。新型スマートフォン等で需要が喚起されているため秋商戦も好調である。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・車の納期が回復しているが、個人客の販売台数が余り伸びていない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・販売台数は変わらない。小型車と軽自動車の比率が逆転し、主力車種の動きが止まったのが気になるが、他の車種でカバーできている。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・メーカーからの配車量は増加しているが、受注量が落ちている。
<input type="checkbox"/>	自動車備品販売店（経営者）	お客様の様子	・他の業種でも、受注量が減少しているという話を聞く。
<input type="checkbox"/>	その他専門店 〔白衣・ユニフォーム〕（経営者）	販売量の動き	・暑すぎたことが原因か、夏場の売上が大きく減少している。良くなる気配もない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店 〔靴〕（従業員）	販売量の動き	・良い商品には金を出す、必要に迫られていない商品には慎重になっている。
<input type="checkbox"/>	その他専門店 〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	販売量の動き	・販売量は前年を下回った状態が続いている。改善の要素も見当たらない。
<input type="checkbox"/>	その他小売 〔ショッピングセンター〕（統括）	来客数の動き	・4～9月までの累計前年比をみると、売上、来客数、客単価は数%のプラスになっているが、エネルギーコストや人件費の上昇により景気の浮揚感は見られない。消費者は日常の食費を節約する一方で、日中の外出が増加したことにより化粧品やカフェ・ランチを楽しむ時間消費型の施設利用が増えており、消費にメリハリがみられる。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・来客数は前年比98%で推移している。
<input type="checkbox"/>	観光型ホテル（スタッフ）	お客様の様子	・館内消費が伸び悩んでいる。
<input type="checkbox"/>	観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・台風の影響で多くのキャンセルが出ている。予約数も伸び悩んでいる。
<input type="checkbox"/>	観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・連休が2回あったことは良かったが、平日の動きは鈍く、その差が激しくなっている。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・コロナ禍明け以降は宿泊申込みから宿泊までの日数が長くなっている。インバウンド需要も徐々に増えつつあり、雪山観光地の冬季インバウンド申込みが活発化している。

□	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・当社宿泊契約施設の販売状況は3か月前とほぼ同様である。
□	タクシー運転手	お客様の様子	・暑い日は続いているものの、他の月と比べてイベントや行事が少なく、3連休も2回あったため、利用客が少なくなっている。
□	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・客の設備投資意欲に変化がみられない。
□	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・客から良い話を聞かない。
□	通信会社（社会貢献担当）	販売量の動き	・販売量は横ばいで推移している。
□	美容室（経営者）	来客数の動き	・来客数は前年比94～96%で推移している。特に常連客の来店率が下がってきており、来店サイクルが延びている。
□	美容室（経営者）	単価の動き	・物価高の影響か、ヘッドスパなどのサブメニューを注文する人が少ない。
□	その他サービス〔寮管理〕（管理人）	お客様の様子	・景気に変化はみられない。消費者は物価高騰に対応する努力をしながら生活をしている。
□	設計事務所（経営者）	販売量の動き	・営業を掛けていた事案が順調に成約している。ただし、売上が立つのは先になる。
□	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・戸建て住宅は安価な規格住宅や建て売りが多く、客単価も低い。
□	その他住宅〔リフォーム〕（従業員）	販売量の動き	・住宅設備機器は、前月から先送りとなっていた省エネ型給湯器の工事は増えたが、残暑の影響で給湯機交換、石油暖房器具の買換えは伸びていない。リフォームは、生活必需品の相次ぐ値上げにより節約志向が高まり、緊急以外の工事を先送りするケースが増えている。
▲	商店街（代表者）	来客数の動き	・暑さが収まっても客足が戻らない。
▲	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	単価の動き	・9月も多くの商品の値上がりがあったが、売上は3か月前と同じである。
▲	一般小売店〔雑貨〕（経営者）	販売量の動き	・上旬から中旬にかけて残暑が厳しく、夏物のセール品しか動いていない。その後に肌寒くなり秋物が少し動いたが、残暑が戻ったため衣料品の動きがビタリと止まっている。
▲	百貨店（催事担当）	販売量の動き	・残暑により秋物の動きが例年より鈍い。一部改装オープンが予定より遅れ、売場を閉めていた期間が長引き、売上減少につながっている。
▲	スーパー（経営者）	単価の動き	・平均単価が前年割れし、来客数も中旬から前年割れとなっている。政治の影響や景気の先行きの様子見をしているようで、買い控えがみられ消費は低迷している。
▲	スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数、販売量共に減少している。
▲	スーパー（企画担当）	販売量の動き	・米不足で一時的に米が異常に売れたが、新米が出てからは、買いだめしているためほとんど売れていない。
▲	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・来客数は減少傾向にある。夜間は横ばいで推移しているものの、昼間の時間帯の落ち込みが顕著である。近隣でイベントがあるときだけ増加し、平日は厳しい状態である。
▲	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・悪天候の日が多く、3か月前より売上が下がっている。
▲	コンビニ（経営者）	それ以外	・残暑が続いているものの、気温の低下とともに来客数が減少している。本部の施策で廃棄物が増加している上に、買い控えもみられる。
▲	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・来客数、販売量共に減少傾向で、4か月連続で前年割れしている。農家の収穫時期と重なったこともあり、人流は鈍い。
▲	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・天候不順や台風の通過によるイベント中止などマイナス要因が多く、来店頻度が低下している。

	▲	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・2週連続で3連休があり、本来であれば売上を伸ばすタイミングだったが、どちらも雨が降り、来客数を伸ばすことができなかった。
	▲	衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・中旬までは暑く、秋物は動かなかった。少し涼しくなった下旬によりよく動き出している。
	▲	衣料品専門店（店長）	販売量の動き	・気温の高い日が続いており、秋物商材の売上が振るわない。物価高騰による節約志向の高まりもみられる。
	▲	家電量販店（従業員）	来客数の動き	・9月になると夜の気温が一気に下がる地域なので早めに冬物を展開しているが、今年は気温が30度を超える日もあり、冬物商材を見に来る客が減っている。中旬には新型スマートフォンが発売されたが盛り上がったのは2～3日である。決算セールを実施中だが反応は鈍い。
	▲	住関連専門店（インテリアコーディネーター）	販売量の動き	・物価上昇が続いている。住宅用の部材や輸入品の価格も上昇している。それにより、建物本体も内装もなるべく予算を抑えようとする人が増えている。
	▲	その他専門店〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・地元では米の収穫が早まったせいか、全体的に飲食店の動きが鈍く、やや低調である。一般店頭販売も価格の上昇が継続しており、売上金額は確保できそうだが、数量は少なくなっている。
	▲	高級レストラン（支配人）	来客数の動き	・10月以降の予約受注が鈍化している。
	▲	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・6月以降は予約数が減少しており、例年よりもやや悪くなっている。
	▲	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・当地のほか、近県で発生した大雨などによる天候不良の影響でキャンセルがあった。
	▲	旅行代理店（従業員）	単価の動き	・比較的高額な商品にも動きがあった以前と比べて、今月は購入単価が低い。安近短の商品に流れている。台風等の災害が続いているため旅行マインドが低下していることも影響しているとみている。
	▲	通信会社（経営者）	お客様の様子	・放送サービスは、若者を中心にテレビ離れが加速しており、新規の加入者数が大幅に減少している。インターネットサービスは、携帯キャリアを中心とした競合他社のサービスへの乗換えが増えているため、加入者数が減少している。
	▲	観光名所（職員）	来客数の動き	・7月末の豪雨で当社は大きなダメージを受け、現在回復に努めている。元々多い予約客は営業活動などで確保できているが、風評被害の影響か、振り客が前年の3割程度に落ち込んでいる。
	▲	遊園地（経営者）	来客数の動き	・2度の3連休が天候不順だったため、来客数は前年を下回っている。団体客はそこそこだが、一般客は低調である。
	×	スーパー（経営者）	お客様の様子	・食料品に限らず物価高が続いているため、節約・儉約志向が高まっている。
	×	衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・厳しい残暑の影響で秋物への移行時期が2～3週間ずれているようで、本来9月に動くはずの衣替え商品が全く動いていない。仕事用のスーツやジャケットといった当社の主力商品が全く動かず大苦戦している。
	×	一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・居酒屋部門は来客数、売上共に堅調に推移している。高単価設定の和食部門は、法人や団体の利用は堅調だが一般客が減少している。止まらない物価高が要因とみている。
企業動向関連	◎	—	—	—
(東北)	○	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・土産需要は堅調で、前年よりやや良い状況で推移している。
	○	食料品製造業（製造担当）	受注量や販売量の動き	・修学旅行を含む団体客、インバウンド等により、飲食店、物販共に好調に推移している。一方で、対応するスタッフの確保に苦労している。
	○	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・半導体設備用部品の今後3か月の受注見込みがやや増加傾向にある。その先も同水準で推移するとの客先情報がある。
	○	建設業（従業員）	受注量や販売量の動き	・受注は順調に推移しているが、人手不足のため仕事を選んで対応している。

○	金融業（広報担当）	取引先の様子	・県内各地の夏祭りの人出も回復し、特に観光宿泊や飲食業界は堅調に推移している。一方、米などの物価上昇が、日常生活における消費マインドを冷やしている。
○	広告代理店（経営者）	取引先の様子	・従来の広告業務とは違う形で新規取引の問合せが増えている。人手不足などを背景に、企業価値向上のニーズが高まっているのではないかと推察している。
□	農林水産業（従業者）	受注価格や販売価格の動き	・農業団体の米の買取価格が発表になり、例年と比べてかなり高くなっているが、依然として生産コストの上昇は続いている。また、異常気象による長雨により米の収穫が遅れている。
□	農林水産業（従業者）	受注量や販売量の動き	・今年は天候に恵まれ、病害や虫害もなく、生育も良好だった。販売も好調に推移している。
□	食料品製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・販売量の前年割れが続いており、3か月前と比べても悪い状況に変わりはない。
□	出版・印刷・同関連産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・役場を中心に印刷物の発注が激減している。デジタル化が進んでいる。
□	出版・印刷・同関連産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・販売量の動きに変化がみられない。
□	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・季節要因以外に目立った動きはない。
□	電気機械器具製造業（企画担当）	取引先の様子	・半導体関連の取引先からは開発、投資の積極的な商談が出てきているが、実際に契約までは至っていない。
□	輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・取引先からの引き合い数の伸び悩みが受注に影響しており、売上も減少傾向となっている。
□	建設業（従業員）	受注量や販売量の動き	・設計に関連した受注契約があった。
□	建設業（従業員）	受注量や販売量の動き	・受注量に変化がなく、変わらない。
□	建設業（従業員）	受注量や販売量の動き	・受注量が限界を超えた状態が続いている。
□	輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・4～9月の売上は前年比4%弱の増収だが、依然として荷動きは良くない。運賃も上昇傾向にあったが、最近では業界全体で需要が減少しているため、停滞若しくは下降気味の状態になっている。
□	通信業（営業担当）	取引先の様子	・顧客に余り積極的な動きは見られない。
□	通信業（営業担当）	取引先の様子	・取引状況に変化はない。
□	広告業協会（役員）	受注量や販売量の動き	・広告市場は3か月前とほぼ変わりなく、前年同月比では微減で推移している。イベントは通常どおり開催されているが、猛暑の影響もあり、新型コロナウイルス感染症発生前の人出には戻っていない。
□	経営コンサルタント	それ以外	・物価は高止まりしており、消費マインドの停滞感は続いている。
□	公認会計士	取引先の様子	・顧客の月次決算状況から判断している。小売、サービス業は売上が回復し、業績も回復基調にある。建設業は一定の売上、利益を出している顧客が多い。製造業は相変わらず部品不足等で売上が上がらず、業績の厳しい顧客が多い。全体の景気はやや良い状況が続いている。
□	その他企業〔企画業〕（経営者）	それ以外	・当地では住宅の新築現場が全く見当たらない。地場工務店の需要が多い地域だが、関係者からは案件相談の件数が非常に少ないと聞く。
▲	電気機械器具製造業（営業担当）	取引先の様子	・顧客が最優先事項に対応しているため、新規発注や追加発注が見込めるような状況にない。
▲	コピーサービス業（従業員）	取引先の様子	・破産企業が増えている。前月に続いて今月も不良債権が発生している。

	▲	その他非製造業 〔食料品卸売業〕（経理担当）	受注量や販売量の動き	・食品の値上げが続いており、販売量は前年をやや下回っている。
	×	窯業・土石製品製造業（職員）	受注量や販売量の動き	・単月では2019年8月から5年連続で前年同月を下回っている。また、年間でも10年連続で前年を下回っている。大変厳しい状況である。
雇用 関連	◎	—	—	—
(東北)	○	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・4月以降前年比マイナス20%前後で推移していた求人数が、今月は前年比プラス7%前後で推移している。ここ数か月とは異なる傾向にある。
	○	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・求人数は増えている。
	○	職業安定所（職員）	求人数の動き	・人流の回復を受けて、交通誘導の求人数が増加している。また、派遣求人も増加傾向にある。
	□	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・飲食業や卸売業、物流倉庫などでは人材不足のため募集を続けているが、畜産業や建設業で経営が苦しくなっている企業が出始めている。
	□	人材派遣会社（社員）	採用者数の動き	・求職者の動きは活発だが、採用企業側の採用要件として経験者を希望する傾向が続いている。
	□	アウトソーシング企業（経営者）	それ以外	・受注量は前年並みで推移している。
	□	新聞社〔求人広告〕（経営者）	周辺企業の様子	・経営者との会合等でも、景気に変化がある話は聞かない。
	□	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・秋祭りなどのイベントは盛況で、若干ではあるが広告に動きが出ている。
	□	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・特定の業種では人手不足感が継続しており、求人活動が活発である。一方で、原材料や燃料費の高騰により、休業などの雇用調整を行う企業も増加傾向にある。
	□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・会社整理が一段落し求職者数は減少傾向にあるが、求人も伸びていない。
	□	民間職業紹介機関（職員）	周辺企業の様子	・取引先との面談では増産の話はない。
	□	学校〔専門学校〕	求人数の動き	・学校への求人数に変化がみられない。
	▲	新聞社〔求人広告〕（経営者）	周辺企業の様子	・取引先からは、物価高騰と人件費増加により非常に厳しい状況にあるという声を聞く。資金繰りが厳しい顧客も散見され、状況の悪化は進んでいる。
	▲	職業安定所（職員）	求人数の動き	・最低賃金の引上げがあり、プラスとなる要因がない。
	▲	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数、有効求人数共に減少している。
	×	—	—	—